

平成30年度 秋田県由利地域保健医療福祉協議会 及び地域医療推進部会 議事録

日時 平成31年3月7日(木)午後2時～3時

場所 本荘グランドホテル

※委員名簿は、別紙のとおり

次 第

- 1 開 会
- 2 由利地域振興局福祉環境部長あいさつ
- 3 委員の紹介
- 4 会長の選出、副会長の指名
由利本荘市長谷部市長が会長に選出され、由利本荘医師会 渡邊会長が副会長に指名された。
- 5 報告（平成30年度各部会報告）
 - (1) 救急・災害医療検討部会
 - (2) 献血推進部会
- 6 議 事
 - (1) 地域医療構想について
 - (2) 今年の10連休中の医療体制について
 - (3) 平成30年度進捗状況について
 - ①自殺予防対策事業について
 - ②感染症予防対策推進事業について
 - ③食中毒予防のための手洗い教室について
 - (4) その他
- 7 その他
- 8 閉 会

配付資料

- 【資料1】各部会報告（救急・災害医療部会、献血推進部会）
- 【資料2】地域医療構想について
- 【資料3】今年の10連休中の医療体制について
- 【資料4】平成30年度事業実績
- 【資料5】自殺予防対策事業
- 【資料6】感染症予防対策推進事業
- 【資料7】食中毒予防のための手洗い教室について

各部会報告

○平成30年度各部会報告を、救急・災害医療部会については佐藤部会長が、献血推進部会については事務局職員が説明した。

議事

- (1) 地域医療構想について、事務局から説明した。
- (2) 今年の10連休中の医療体制について、事務局から説明した。
- (3) ①自殺予防対策事業について、②感染症予防対策推進事業について及び③食中毒のための手洗い教室について、事務局から説明した。

(齋藤委員) はしかや風疹が流行中と言っていたが感染管理認定看護師というのは、由利本荘保健所管内ではどの程度いるか把握しているか。

(笹嶋主任) 平成30年度の状況は、由利組合総合病院に1名、あきた病院に1名となっている。今年度もこの2名の方に感染症予防対策推進事業にご協力いただいた。

(齋藤委員) 認定を得ることは大変なことなのか。

(笹嶋主任) 長期間の専門研修を行う必要がある。具体的なカリキュラムは把握していないが、費用と時間がかかると聞いている。

(齋藤委員) その費用について県からの助成などはあるものか。

(笹嶋主任) 現在は無い状況である。

(齋藤委員) 金銭的な理由で助成をすることは難しいのか。

(笹嶋主任) 各病院で感染管理認定看護師が増えているというのは聞いているが行政からの補助は今のところ無い。医療現場においてニーズがあるものか状況を伺いたい。

(齋藤委員) 由利組合総合病院佐藤委員、人数を増やす予定はあるか。

(佐藤委員) 認定資格者の養成は各病院が事業計画に基づいて行っている。養成に関しては時間と費用がかかるが、厚生連病院であれば、認定資格取得に関しては奨学金制度が設けられている。

(4) その他

(渡邊委員) 議事(2)の10連休の医療体制についてであるが、由利組合総合病院と本荘第一病院は外来診療は行わず、救急体制で医療を行う。

慢性疾患の患者の処方については、二次救急を担う医療機関を受診するのは不適切であり、そのような患者についてはかかりつけ医である診療所を受診できるよう、一般診療所の半数が連休の半ばに診療を実施する。

については、そのような診療所が休日加算を算定できるように、今回の大型連休に限って休日当番医体制を取ることに認めていただきたい。

日本医師会では、慢性疾患の患者さんを除いた新患の患者さんに休日加算を算定できるように国へ働きかけている状態である。

休日加算については、郡市医師会の理事会を通過していないため、理事会終了後に行政にお願いしたいと思っている。

(佐藤主査) 今回の協議会においてこのような意見があったということは県医務薬事課に伝える。